

マタイの福音書
聖書講解シリーズ
15) 殺人と怒りについて
マタイ 5:21-26
2019.5.12 HKJCF

1

概観

御国の民として神様が要求している義、十戒の本当の意味、心の内面について、イエス様の教えから正しく学ぼう。

アウトライン

- | | |
|------------|--------|
| 1. 怒りの恐ろしさ | V21-22 |
| 2. 和解の大切さ | V23-24 |
| 3. 謝罪の難しさ | V25-26 |

2

1. 怒りの恐ろしさ V21-22

- 1) 昔の人々に：ラビたちの伝承と追加解釈；
イエス様の権威で正しい理解を学ぶ。
- 2) 腹を立てる者：行動ではなく、心の怒りが問題
(イヨハネ 3:15)；律法学者は行動に限定。
- 3) 他人を見下げる発言：「能なし、ラカ」＝ 知的に頭が空っぽな者；「ばか者」：品性、道徳的に愚かな者⇒怒りに任せるプライド。
- 4) 吊り合わない裁き：最高議会→燃えるゲヘナ
(II歴代誌 28:3) ⇒誇張法の話し方。

3

2. 和解の大切さ V23-24

- 1) 祭壇と供え物：礼拝を捧げる前に、
和解>礼拝。人に傷を与え、自分が加害者の前提。
- 2) 思い出したなら：多くの場合、自分の行動の影響に気づかない。一生へりくだりを学ぶ。
率先して和解を求め、状況を放置しないこと。
- 3) 礼拝を捧げずに、仲直りする：エルサレム⇔ガリラヤ＝130キロ×2；一週間の道程。
- 4) 礼拝の姿勢：怒りを抱えたまま×、怒りを抱かせたまま×；例：2013年の神様の扱い。

4

3. 謝罪の難しさ V25-26

- 1) 兄弟と告訴する者：より難しい要求。兄弟との仲直り→敵との仲直り。
- 2) 裁判官、下役に引き渡す：自分が有罪の前提→牢に入れられることが決定。
- 3) 最後の一コドラント：負債を支払う。
1/64デナリ→8時間/64＝7.5分間の賃金。
- 4) 牢から出てこられない：牢に入っている間、支払う方法がない。イエス様の解釈が正しいなら、人間にとって謝罪しきれない要求。

5

適用

①御言葉の正しい理解を学ぶように：

自分の勝手な解釈ではなく、御言葉の本当の要求、イエス様の教えを聞くように。

②行動ではなく、心を改めるように：

御言葉を戒律やルールとして捉えるのではなく、心の実態を吟味する基準として学びつづけるように。

6